

2026年10月15日
株式会社日本医薬総合研究所

「健康経営戦略マップ」を策定 ～働きがいのある職場づくりと、さらなる組織の成長 へ～

株式会社日本医薬総合研究所(本社:東京都港区、代表取締役社長:橋爪 敦弘、以下:日本医薬総合研究所)は、社員一人ひとりが健康な状態でいきいきと働くことができる職場環境の実現に向け、「健康経営戦略マップ」を策定いたしました。

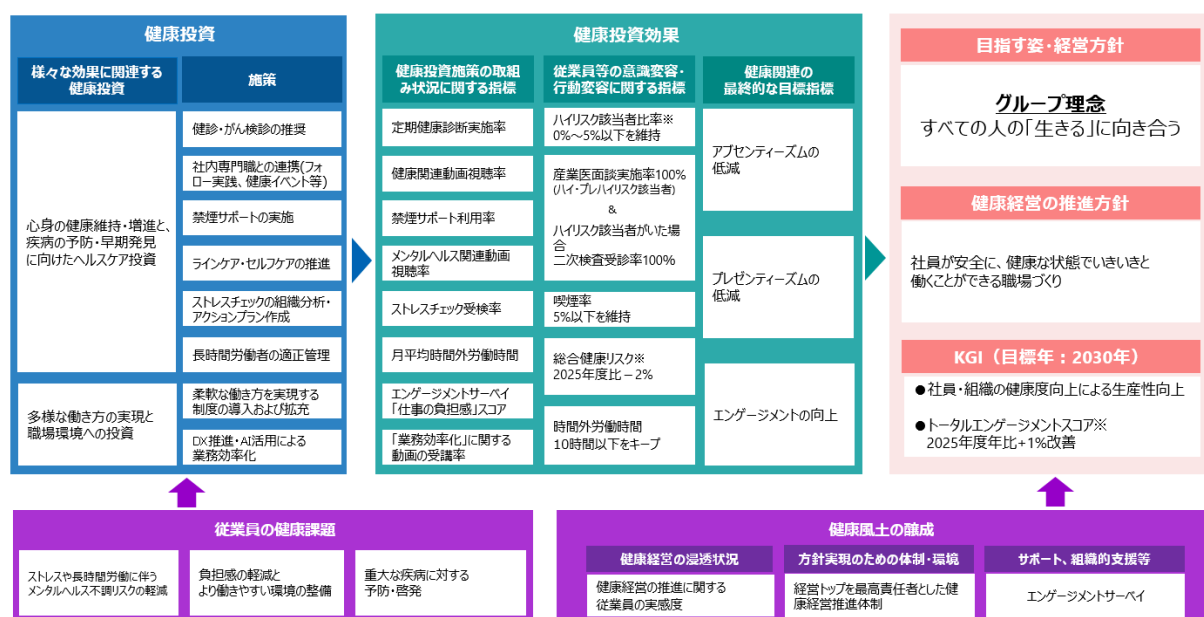
■ 策定の背景と目的

当社は、これまでも社員の健康と企業の持続的な成長を目指して取り組んでまいりました。その結果、2026年3月には4年連続となる「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」の認定を受けております。

グループ理念「すべての人の『生きる』に向き合う」を実現するには、その基盤となる社員自身の健やかな心身が欠かせません。これまでの取り組みをさらに進め、健康施策がもたらす成果を可視化し、持続的に健康経営を推進していく目的で、本マップを策定いたしました。

■ 「健康経営戦略マップ」

本マップでは、社員の意識・行動や健康状態の変化を経て、最終的な目標達成につなげていく考え方を整理しています。



※ハイリスク・プレハイリスク: 血圧、糖尿病、ヘモグロビンに関し、会社基準値を2段階で設定したもの

※トータルエンゲージメント: 仕事・職場・会社へのエンゲージメント(ワークエンゲージメントと従業員エンゲージメントの合算値)

※総合健康リスク: ストレスチェックにおける仕事のストレス判定図で評価された健康リスク(「量-コントロール判断図の値」×「職場の支援判断図」/100)

■ 今後の目標

従業員の主な健康課題への対策として、「ストレスや長時間労働に伴うメンタルヘルス不調リスクの軽減」「負担感の軽減とより働きやすい環境の整備」「重大な疾病に対する予防・啓発」を掲げています。

これらを解決するためのヘルスケア投資や、DX推進による職場環境への投資を通じて、以下の最終目標(KGI)の達成を目指します。

【主な目標(KGI:2030年目標)】

- 社員・組織の健康度向上による生産性の向上(プレゼンティーズムスコアの平均値:80%)
- トータルエンゲージメントスコア:2025年度比+1%改善

当社は本戦略マップに基づく効果検証を重ねながら、心身ともに健やかで働きがいのある組織づくりを力強く推進してまいります。

【株式会社日本医薬総合研究所について】 <https://www.jpmedri.co.jp/>

日本調剤グループ各社を通じて培った医療情報資源を基に、医薬業界の健全なる発展、成長に寄与し、国民生活の向上に資する価値ある情報サービスを提供するために2012年1月に発足しました。製薬・ヘルスケア企業、医療機関・保険者さま・保険薬局からのさまざまなニーズに応えるため、処方箋情報・レセプト情報をはじめとする各種医療ビッグデータを基盤に、「医療の質の向上」、「医療費の適正化」、「国民の健康寿命の延伸」といった日本全体の医療課題に貢献してまいります。

【日本調剤グループについて】 <https://www.nicho.co.jp/brand/>

日本調剤グループは、すべての人の「生きる」に向き合う、という揺るぎない使命のもと、調剤薬局事業を中核に、医薬品製造販売事業、医療従事者派遣・紹介事業、情報提供・コンサルティング事業を展開する、多様な医療プロフェッショナルを擁したヘルスケアグループです。医療を軸とした事業アプローチによる社会課題解決を通じて持続可能性を追求し、すべての人の「生きる」に貢献してまいります。

【本ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社日本医薬総合研究所

TEL:03-6810-0812 FAX: 03-3457-2720

E-mail: soken-info@jpmedri.co.jp